

スタートアップとの共創

令和8年7月3日（金）

知事定例記者会見資料

大和平野中央構想・スタートアップ推進課

梅本、平井（内線61084、61083）

なぜスタートアップとの共創が必要？

スタートアップとは

新しい技術や
ビジネスモデル

を有し

急成長

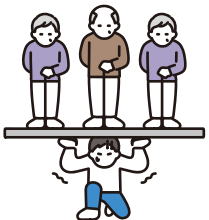
を目指す

新しい企業

参考：経済産業省「スタートアップ育成に向けた政府の取組（2026年3月）」

共創とは

社会課題が
複雑化



自治体だけ
では解決困難



自治体とスタートアップが
タッグを組んで
課題に挑戦



地域の
課題解決と
経済成長へ！



オープンイノベーションプログラム

自治体（奈良県・宇陀市・田原本町）から

- ・それぞれの課題を発表
- ・ソリューション（解決方策）を募集



スタートアップがソリューションを提案



自治体とスタートアップを**マッチング**



自治体とスタートアップで共創プランを作成



令和7年度の取組 ②

共創プランの具体例

目標 道路利用者の“安全・安心”の実現

遠隔からの通行規制

を可能にすることで



- ・雨量規制開始から看板設置までのタイムラグを解消（迅速化）
- ・職員の業務を効率化

将来イメージ



現在：移動・看板設置に
1時間20分必要

将来：ほぼ0 に

令和7年度は、現地に太陽光発電装置を設置し、発電量テスト及び通信テストを実施
令和8年度は、現地に規制装置を設置し、動作確認や通信テスト等を行う

共創プランの具体例

目標 “こどもまんなか社会”の実現

こども・若者の声の収集・分析に

オンラインプラットフォーム・AI

を活用することで



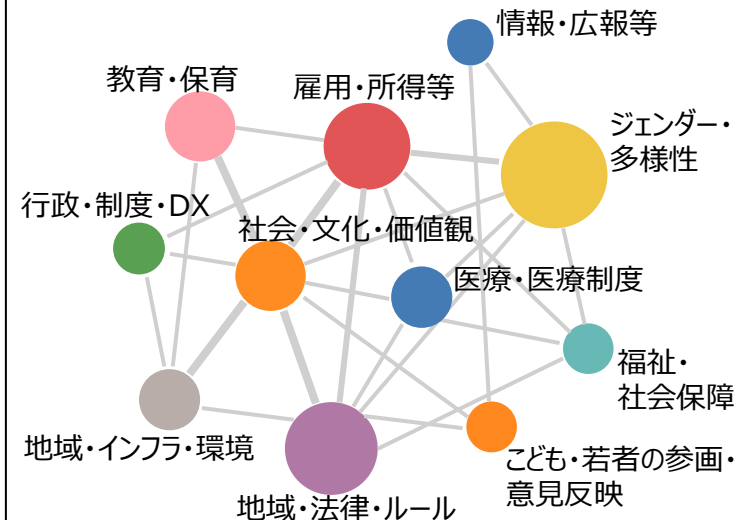
こども・若者の

声（意見）を分析（背景等の類推）・分類し、
施策に反映

現在：収集したこども・若者の声を
十分に分析できていない

将来：こども・若者の声を反映した
（こども・若者の視点に立った）
施策の立案・実施が可能に

（参考）令和7年度のAI分析・分類の試行結果



令和7年度は、「奈良県こどもまんなか未来戦略」策定時に届いた意見の分類・分析に活用（試行）
令和8年度は、オンラインアンケートや学校訪問の場面で分類・分析等に活用（試行）

令和8年度取組 ①

自治体から課題発表と
ソリューション募集

7月3日
募集開始

<https://eiicon.net/about/divetsumeetup2026/>

スタートアップが
ソリューションを提案

7月26日まで

自治体と
スタートアップをマッチング

8～9月

自治体とスタートアップで共創プランを作成

9月～令和9年3月

実証実験

製品販売・サービス提供

NEW

スタートアップからの自由提案

スタートアップが考える
自治体の課題とソリューションを提案

7月3日
募集開始

<https://eiicon.net/about/divetsumeetup2026/>

7月26日まで

オープン
イノベーション
プログラム

NEW

優先調達

令和 8 年度の取組 ②

オープンイノベーションプログラム（自治体から課題発表とソリューション募集）

課題発表 6 件 （7月3日時点）

- 奈良県 固定的性別役割分担意識の解消促進
児童相談所における支援記録作成業務効率化
県民の脱炭素化への行動変容促進
県内宿泊施設の脱炭素化促進
- 生駒市 公民連携プラットフォーム作成
- 宇陀市 庁内運用可能なノーコードツール開発

7月15日(水) 15時～17時30分 於：QUINTBRIDGE(大阪市都島区)



オープンイノベーションプログラム（**NEW** スタートアップからの自由提案）

スタートアップが考える
自治体の課題とソリューションを提案



自治体とスタートアップで
共創プランを作成

NEW 優先調達等による支援

- 新規性・独自性のある製品等を有するスタートアップを県が認定し、優先調達を促進※
- 認定したスタートアップの製品・サービスを県のイベントや広報媒体でPR

※地方自治法施行令第167条の2第1項第4号による随意契約